

NYマーケットレポート (2015年1月21日)

NY市場では、日銀が追加緩和を見送ったことが引き続き材料視され、円買い・ドル売りが先行した。序盤に発表された米住宅着工件数は、市場予想を上回る結果となったものの反応は限定的となった。そして、ECBが理事会で月額500億ユーロ規模の量的金融緩和を討議する見通しとの報道を受けて、ユーロが主要通貨に対して下落する動きとなったものの、予想よりも少ない規模との見方も出るなど、思惑が交錯する場面もあり、ユーロは乱高下する動きとなった。一方、豪ドルなどの資源国通貨は、上値の重い展開が続いた。

## 2015/1/21 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.67	118.84	117.31
EUR/JPY	135.99	137.30	135.84
GBP/JPY	178.45	179.95	178.05
AUD/JPY	96.56	97.17	96.49
EUR/USD	1.1558	1.1589	1.1541

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	117.92	117.42
EUR/JPY	136.50	135.91
GBP/JPY	178.75	177.37
AUD/JPY	96.70	96.21
EUR/USD	1.1594	1.1547

\*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17280.48	-85.82
ハンセン指数	24352.58	+401.42
上海総合	3323.61	+150.66
韓国総合指数	1921.23	+2.92
豪ASX200	5393.38	+85.71
インドSENSEX指数	28888.86	+104.19
シンガポールST指数	3354.46	+20.44

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6728.04	+107.94
仏CAC40	4484.82	+38.80
独DAX	10299.23	+42.10
ST欧州600	358.12	+2.16
西IBEX35指数	10335.30	+51.40
伊FTSE MIB指数	19981.41	+322.75
南ア 全株指数	49588.79	+464.02

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.82	118.18	117.19
EUR/JPY	136.74	136.90	135.80
GBP/JPY	178.39	178.61	177.08
AUD/JPY	95.29	96.59	95.23
NZD/JPY	89.09	90.46	88.97
EUR/USD	1.1608	1.1680	1.1562
AUD/USD	0.8088	0.8230	0.8078

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17554.28	+39.05
S&P500	2032.12	+9.57
NASDAQ	4667.42	+12.58
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14560.42	+251.98
🇧🇷 ボルサ指数	42488.73	+736.06
🇲🇽 ボベスパ指数	49224.08	1347.42

### 1/22 経済指標スケジュール

09:00	【豪】11月HIA新築住宅販売
09:00	【豪】1月消費者インフレ期待
09:00	【NZ】1月ANZ消費者信頼感指数
17:30	【香港】12月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】12月失業率
18:30	【英】12月公共部門純借入所要額
18:30	【英】12月公共部門純借入額
18:30	【英】1月CBI企業動向調査
21:45	【欧】政策金利発表
22:30	【米】新規失業保険申請件数
22:30	【米】失業保険継続受給者数
23:00	【米】11月住宅価格指数
00:00	【欧】1月消費者信頼感
01:00	【米】1月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1293.70	-0.50
NY 原油	47.78	+1.31
CMEコーン	388.00	-2.25
CBOT 大豆	983.50	+1.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.51%	0.49%
3年債	0.87%	0.83%
5年債	1.35%	1.29%
7年債	1.67%	1.59%
10年債	1.87%	1.79%
30年債	2.46%	2.37%

### 1/22 主要会議・講演・その他予定

- ・ドラギECB総裁 定例会見
- ・米10年TIPS債入札

(出所: SBILM)

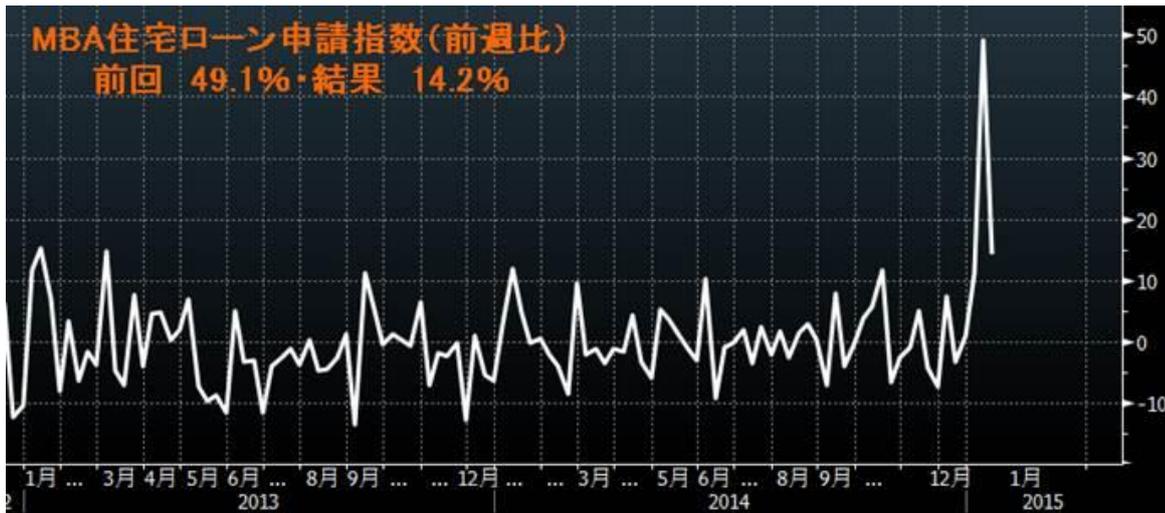
## NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 14.2% (前回 49.1%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	1/16	1/9	1/2	12/26	12/19	12/12	前年同期
申請指数	14.2	49.1	11.1	-18.2	0.9	-3.3	39.0
購入	-2.5	23.6	4.5	-9.1	1.3	-6.9	3.7
借換え	22.3	66.4	16.0	-24.3	1.1	0.0	63.3
固定金利	13.5	47.6	12.2	-17.7	0.6	-2.5	40.3
変動金利	24.6	79.3	-6.3	-26.6	4.9	-13.6	23.2

(%)

ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30年 3.80 3.89 4.01 4.04 4.02 4.06

固定金利 15年 3.10 3.16 3.24 3.32 3.29 3.33

【MBA 住宅ローン申請件数】

MBA 住宅ローン申請件数は、米抵当銀行協会 (Mortgage Bankers Association) が毎週発表する個人の住宅ローン申請件数を指数化した指標である。購入、借換え、固定・変動金利のローン申請件数などの数値を基にした指数である。

22:00

ドル/円 117.48 ユーロ/円 136.14 ユーロ/ドル 1.1589

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6662.42	+42.32	ダウ INDEX FUTURE	17376	-85
仏 CAC40	4427.02	-19.00	S&P500 FUTURE	2010.00	-6.80
独 DAX	10221.19	-45.94	NASDAQ FUTURE	4154.00	-13.00

(出所:SBILM)

22:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月ポーランド鉱工業生産販売(前月比) -2.3%(予想 -5.3%・前回 -7.5%)  
 12月ポーランド鉱工業生産販売(前年比) 8.4%(予想 5.2%・前回 0.3%)  
 12月ポーランド生産者物価指数(前月比) -1.0%(予想 -0.5%・前回 -0.5%)  
 12月ポーランド生産者物価指数(前年比) -2.5%(予想 -2.1%・前回 -1.6%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 30

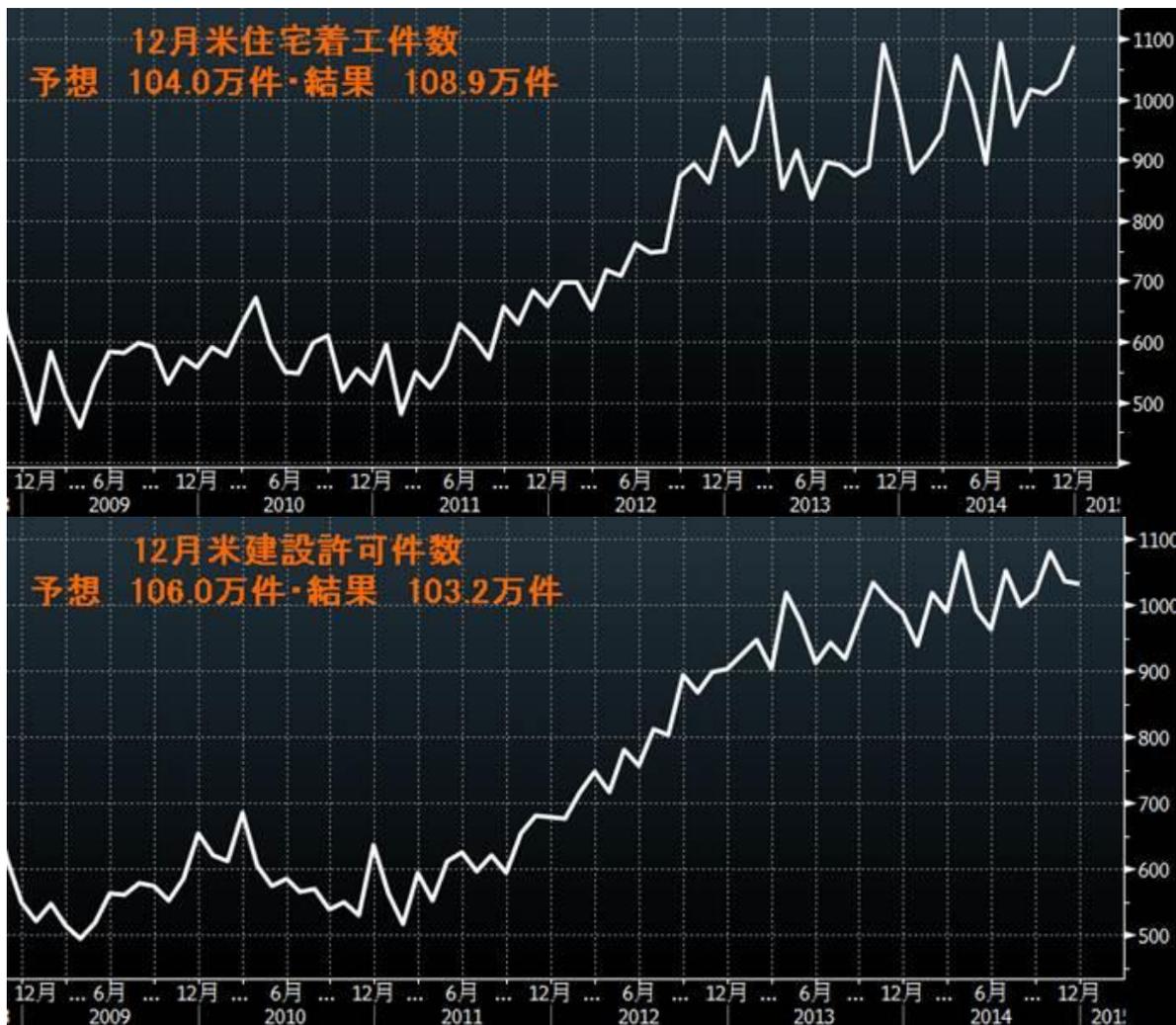
◀ 経済指標の結果 ▶

12月米住宅着工件数 108.9万件（予想 104.0万件・前回 104.3万件）  
 前回発表の102.8万件から104.3万件に修正

12月米住宅着工件数（前月比） 4.4%（予想 1.2%・前回 -4.5%）  
 前回発表の-1.6%から-4.5%に修正

12月米建設許可件数 103.2万件（予想 106.0万件・前回 105.2万件）  
 前回発表の103.5万件から105.2万件に修正

12月米建設許可件数（前月比） -1.9%（予想 0.8%・前回 -3.7%）  
 前回発表の-5.2%から-3.7%に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
住宅着工件数	108.9	104.3	109.2	102.8	96.3	109.8
一戸建て住宅	72.8	67.9	71.6	66.3	64.1	65.2
集合住宅	36.1	36.4	37.6	36.5	32.2	44.6
許可件数	103.2	105.2	109.2	103.1	100.3	105.7
一戸建て住宅	66.7	63.8	64.7	63.1	62.7	63.1
集合住宅	36.5	41.4	44.5	40.0	37.6	42.6

前月比 (%)

住宅着工	4.4	-4.5	6.2	6.7	-12.3	20.8
住宅建設許可	-1.9	-3.7	5.9	2.8	-5.1	8.6

【米住宅着工件数】

住宅着工件数は、住宅建設が着工された民間住宅の着工件数を集計した経済指標で、家電製品などの個人消費との相関性も高いことから、景気動向を見る上で重要な指標である。また、天候の影響を受けやすいという面もある。

【米建設許可件数】

住宅建設許可件数は、住宅建設の許可申請の発行数を集計した経済指標である。そして、住宅建設は自治体に許可申請を行わなければならないため、住宅建設の先行指標となる。また、ローン金利の動向などに左右される面もあり、他の住宅関連指標同様に景気動向を見る上で重要な指標として注目されている。

22:30

《 経済指標の結果 》

11月カナダ卸売売上高 (前月比) -0.3% (予想 0.0%・前回 0.1%)



23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17420.19	+95.04
ナスダック	4638.55	+16.29

(出所: SBILM)

23 : 35

ECB は、2016 年まで月額 500 億ユーロの量的緩和を提案～関係者  
購入は国債が中心で 3 月より前には始まらないと～関係者

23 : 45

ECB、報道に関してコメント控える。



(出所: ネットダニア)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利発表 0.75% (予想 1.00%・前回 1.00%)



(出所: ブルームバーグ)



0 : 30

≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、前日に減収減益決算を発表したコンピューター大手の売りが先行し、全体を押し下げています。ただ、ECB が 22 日に開く理事会で量的緩和に踏み切るとの期待から買い戻しも入った。

≪ 経済指標のポイント ≫

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比+14.2%となり、3週連続で上昇となった。引き続き借り入れコストの低下を背景に借り換え申請が増加したことが要因となった。構成指数では、借り換え指数が+22.3%となったものの、購入指数は-2.5%となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は3.80% (前週3.89%) となり、2013年5月以来の低水準となった。また、申請全体に占める借り換えの割合は73.9% (前週70.5%) となり、2013年5月以来の高水準となった。

(2) 12月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比+4.4%の108.9万件となり、市場予想の104万件を上回る結果となった。また、前年同月比では+5.3%。一方、建設許可件数は、前月比-1.9%の103.2万件となり、市場予想の105.5万件を下回り、2ヵ月連続のマイナスとなった。前年同月比では+1.0%。

①着工件数では、一戸建て住宅が+7.2%の72.8万件、それ以外の集合住宅などは-0.8%の36.1万件。

②地域別では、北東部が+12.5%、南部が+8.8%、西部が+5.8%となったが、中西部は-13.3%となった。

③2014年年間ベースの住宅着工件数は、前年比+8.8%の100.6万件と5年連続で増加し、件数ベースでリーマン・ショックの前年である2007年以来7年ぶりの高水準となった。

《ポイント》

ECB 理事会では3つのポイントに注目。

- ①、国債買入れを含めたQE（量的緩和）に踏み切るかどうか。
- ②、QEに踏み切る場合の規模。
- ③、ギリシャへの対応。

①ユーロ圏の物価指数は、前年比でマイナスに転じており、原油安でインフレ率は当面低下が続くとの予想が出ていることや、欧州司法裁判所がECBの国債買入れ策は財政ファイナンスにはあたらないとの見解を示したことから、追加緩和が決定されるとの見方が強まっている。

②QEに踏み切る場合の規模は、市場では6000億ユーロ規模が予想されている。ただ、5000億ユーロ規模を下回る場合には、ややインパクトも薄れる可能性も考えられる。そして、QEが決定された場合には、ユーロの一段の下落も考えられるが、市場では追加緩和を織り込んですでにユーロの下落が続いていることから、短期的にユーロのショートカバー（買戻し）の可能性（規模も影響する）も予想される。

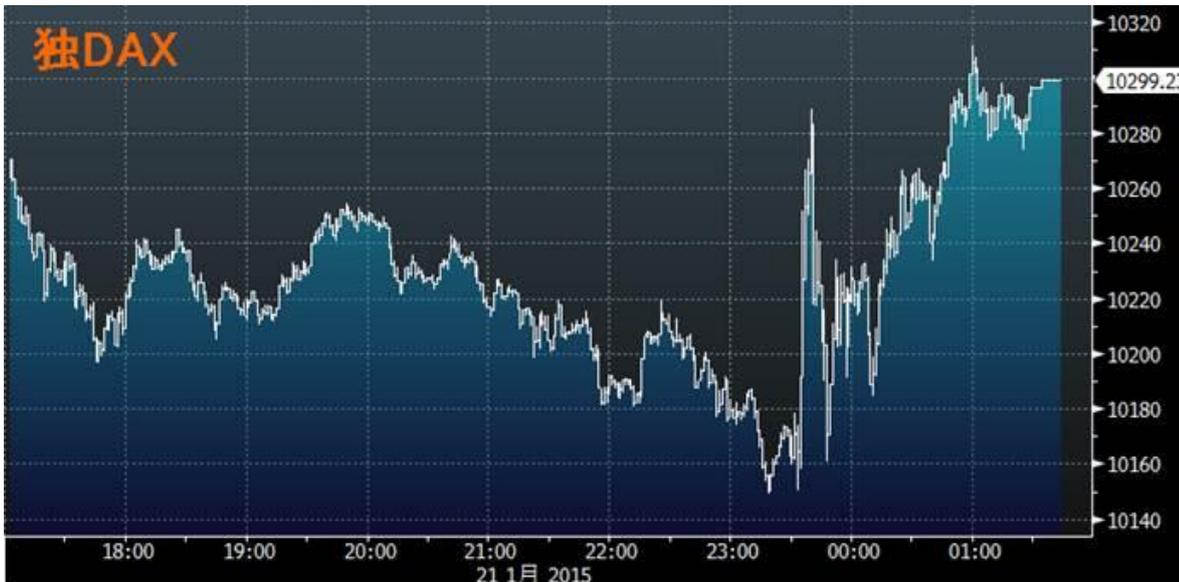
③ギリシャは総選挙を控えており、野党・急進左派連合が政権を奪取する場合は、EUやIMFとの確執が高まる可能性や、QEプログラム対象からギリシャが除外される場合、ギリシャのユーロ圏離脱につながる可能性が指摘されている。そのため、選挙結果を踏まえて、条件付きで買入れを行う可能性など、対応も注目されている。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6728.04	+107.94
仏 CAC40	4484.82	+38.80
独 DAX	10299.23	+42.10
ストック欧州 600 指数	358.12	+2.16
ユーロファースト 300 指数	1431.06	+8.27
スペイン IBEX35 指数	10335.30	+51.40
イタリア FTSE MIB 指数	19981.41	+322.75
南ア アフリカ全株指数	49588.79	+464.02

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、序盤から軟調な展開が続いたものの、原油価格が持ち直したことや、ECB理事会で量的金融緩和の導入を決めるとの期待を背景に、終盤には軒並み上昇となった。独DAXは、4営業日連続で終値の最高値を更新した。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17567.06 (+51.83)、 S&P500 2034.16 (+11.61)、 ナスダック 4683.42 (+28.57)

《欧州のポイント》

①英中銀が公表した1月の金融政策委員会の議事録は、金利据え置きを7月以来となる全会一致で決定したことが明らかになった。8月以降利上げを主張していたウィール委員とマカファーティー委員は、今の段階で利上げすれば目標水準を下回っているインフレが長期化する可能性があるとして、主張を取り下げた。そのため「今回の決定は、バランスがよくとれたものになった」と指摘した。

②ポーランド中銀のベルカ総裁は、追加利下げの余地があると指摘した上で、外国為替市場が安定するまで実施は見送るのが望ましいとの見解を示した。外為市場では、スイス中銀が先週、スイスフランの対ユーロ相場に設定していた上限を撤廃したことを受け、フランが急騰。通貨ズロチはこの措置が発表される前の1スイスフラン=3.6ズロチから4.2ズロチまで下落した。ポーランドではフラン建て住宅ローンも多く、住宅所有者の返済負担が膨らんだ。

③ギリシャ総選挙の最新調査によると、野党・急進左派連合(Syriza)支持率は31.2%、サマラス首相率いる与党・新民主主義党(ND)は27.0%となり、両党の差は前回の3.8%ポイントから4.2%ポイントに広がった。

そして、急進左派のアレクシス・ツィプラス党首は、21日付のフィナンシャル・タイムズ(FT)の論説記事で、欧州の債務をめぐる会議でギリシャ国債の債権放棄を決定するよう再び求めると同時に、ギリシャを変革するために時間的猶予が必要だとした。

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、ECB理事会の結果を見極めたいとして積極的な売買が手控えられ、もみ合いの展開となった。12月の米住宅着工件数は市場予想を上回ったが、国債相場への影響は限定的だった。

午前の利回りは、30年債が2.39%(前日2.38%)、10年債が1.80%(1.79%)、7年債が1.58%(1.59%)、5年債が1.28%(1.29%)、3年債が0.82%(0.83%)、2年債が0.48%(0.50%)。

4:50

NY金は、中心限月が前日比0.50ドル安の1オンス=1293.70ドルで取引を終了した。

5:30

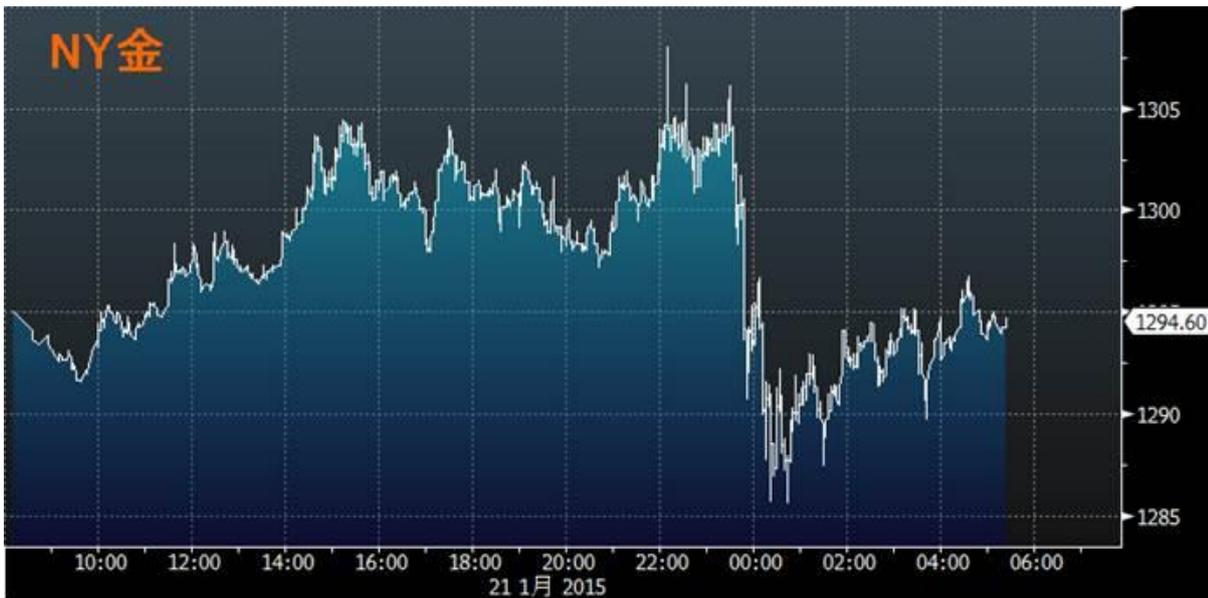
NY原油は、中心限月が前日比1.31ドル高の1バレル=47.78ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1293.70	-0.50
NY 原油	47.78	+1.31

(出所: SBILM)

《NY金市場》

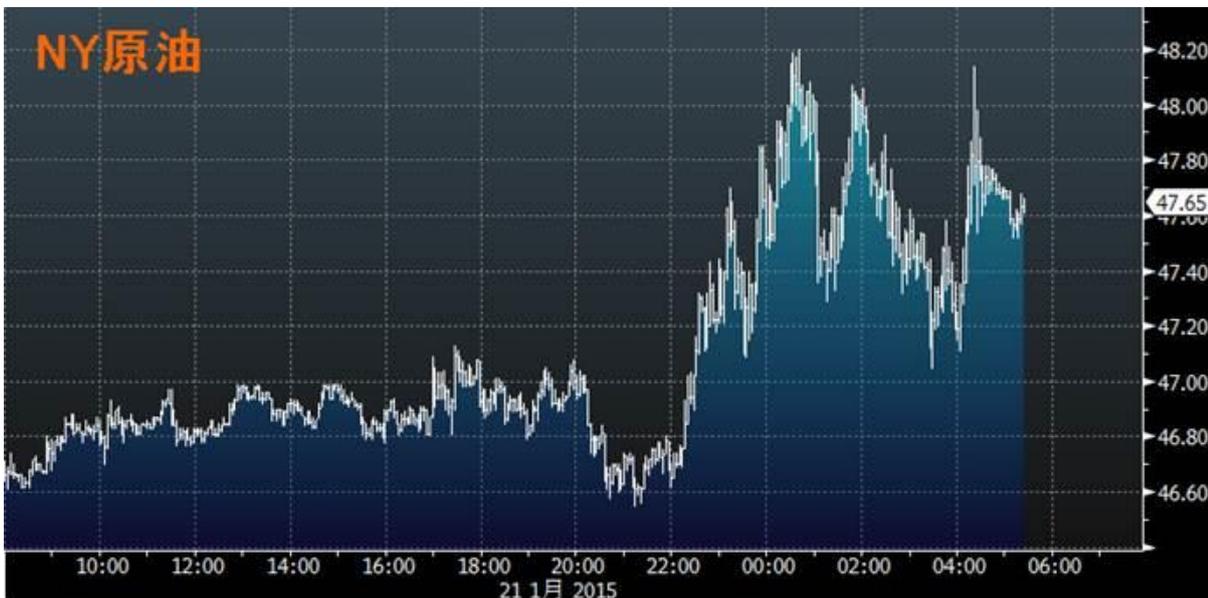
NY金は、世界景気の減速懸念を背景に逃避的な買いが続き、一時は1オンス=1300ドル台を回復したが、その後は為替市場でドルがユーロに対して下げ幅を縮小したのにつれてドルの代替資産とされる金を売る動きも出て、8営業日ぶりに反落となった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、OPEC（石油輸出国機構）の事務局長が原油価格について、まもなく反発するとの認識を示したことや、仏石油大手が米シェールオイルやガスへの投資削減を表明したとの報道を受けて、堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17554.28	+39.05	17599.58	17396.04
S&P500 種	2032.12	+9.57	2038.29	2012.04
ナスダック	4667.42	+12.58	4692.46	4629.59

(出所:SBILM)

## 《米株式市場》

米株式市場は、前日引け後に発表されたコンピューター大手の減収減益決算を受けて売りが先行し、序盤の主要株価は軟調な動きとなった。その後、ECB 理事会で国債購入を含む量的緩和を討議するとの報道を受けて、反発する動きとなった。しかし、値動きは限定的となり、午後には再びマイナス圏まで下げる場面もあった。ダウ平均株価は、序盤軟調な動きとなり、前日比 119 ドル安まで下落したものの、その後は 84 ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、終盤にはマイナス圏まで下落するなど、やや方向感に欠ける動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.82	118.18	117.19
EUR/JPY	136.74	136.90	135.80
GBP/JPY	178.39	178.61	177.08
AUD/JPY	95.29	96.59	95.23
NZD/JPY	89.09	90.46	88.97
EUR/USD	1.1608	1.1680	1.1562
AUD/USD	0.8088	0.8230	0.8078

(出所:SBILM)

## 《外国為替市場》

外国為替市場は、欧州市場から続いた軟調な流れが一服し、ドル円・クロス円はやや小動きの展開で始まった。軟調な展開で始まった米株価が堅調な動きとなったことや、米長期債利回りが上昇したことを受けて、ドル円クロス円は堅調な動きとなった。ユーロは、ECB が理事会で 6000 億規模の追加緩和を討議するとの報道を受けて、思惑が交錯し、乱高下する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。